

# 次期難病・小慢DB (診断書のオンライン登録) 全国自治体説明会

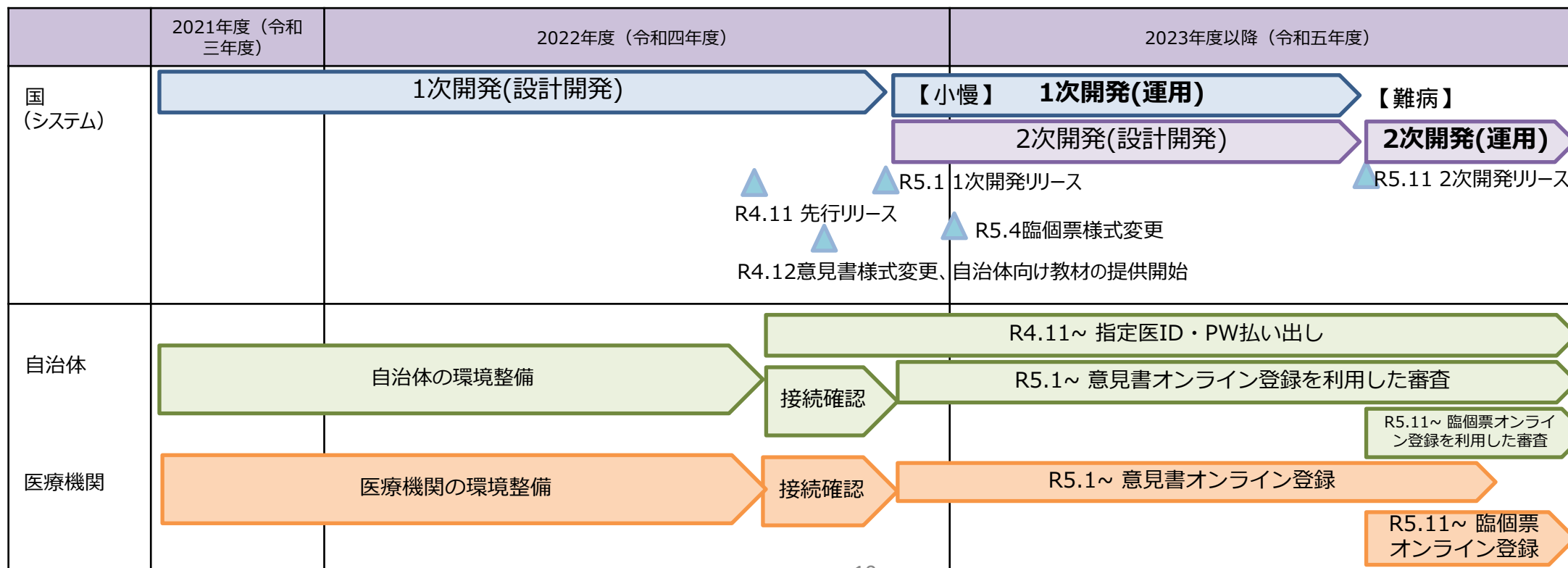
2022年2月  
厚生労働省 健康局 難病対策課

# 新システムのスケジュール

## 次期難病・小慢DBのシステム更改スケジュール

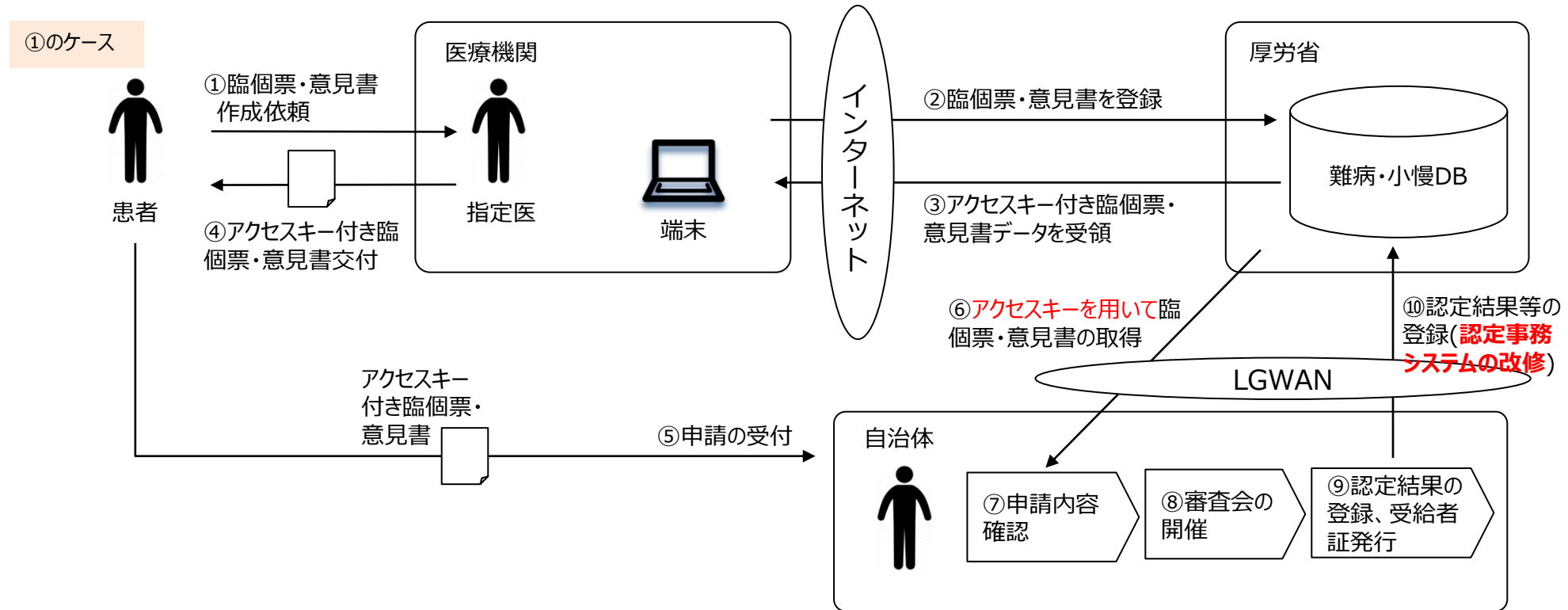
### 【自治体に関する主なイベント】

- 2022年11月～ 接続確認、医療機関ID・PW払い出し開始
- 2022年12月～ 新システム用教材の展開
- 2022年12月 意見書様式の変更
- 2023年 1月 新システム稼働開始（1次開発）、意見書オンライン登録及び審査の開始
- 2023年 4月 臨個票様式の変更
- 2023年11月 2次開発リリース、臨個票オンライン登録及び審査の開始



## オンライン化後の医療費助成の申請とデータ登録の流れ（イメージ）

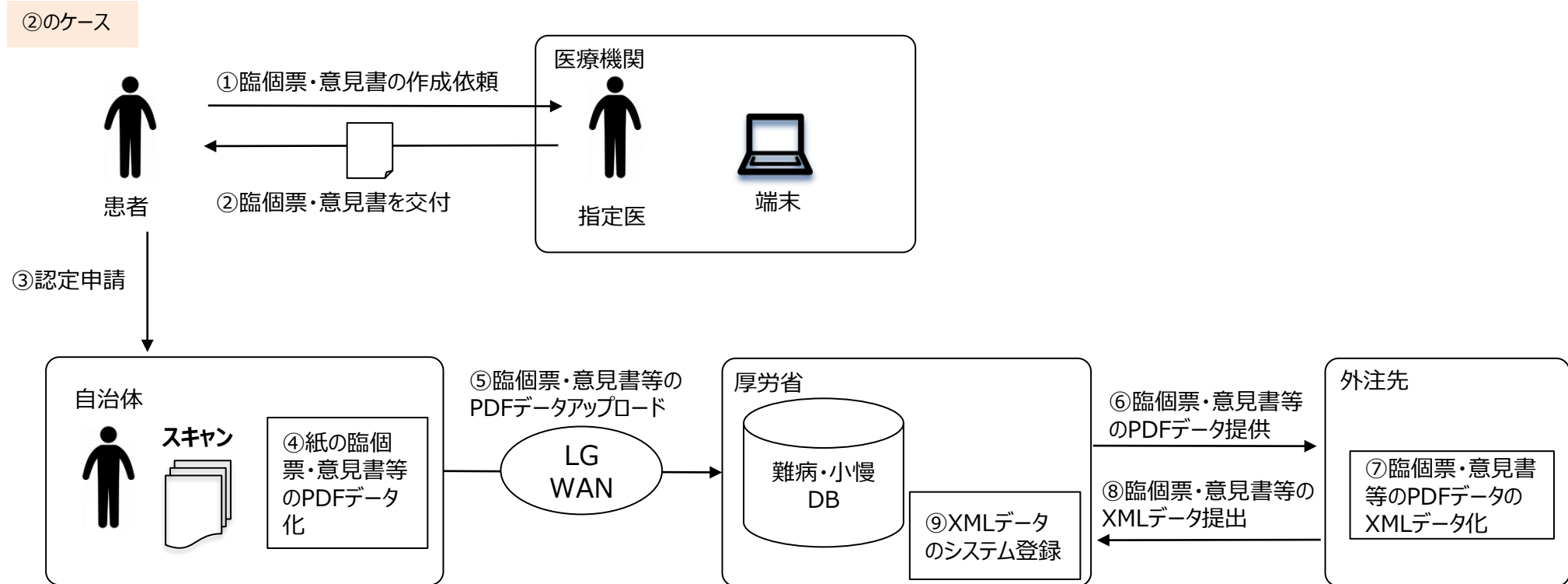
### ① 指定医が新システムを用いて臨個票・意見書を作成し、患者が申請するケース



- ✓ 申請を受けた自治体では、アクセスキーにより臨個票・意見書の電子データを参照し、新システムの一次判定機能による該当・非該当情報を確認できる。これにより、今まで自治体職員が読み込んで判定していた業務の負担軽減が期待できる。
- ✓ 審査会で使用する臨個票・意見書は、個人情報情報をマスキングした状態で新システムよりプリントアウトできる。
- ✓ 自治体では、臨個票・意見書の紙の郵送の手間が削減されるものの、**新システムに認定審査結果、研究利用の同意有無、階層区分等を登録することが必要**になる。

## オンライン化後の医療費助成の申請とデータ登録の流れ（イメージ）

② 指定医が新システムを用いず従来通りに臨個票・意見書を作成し、患者が申請するケース

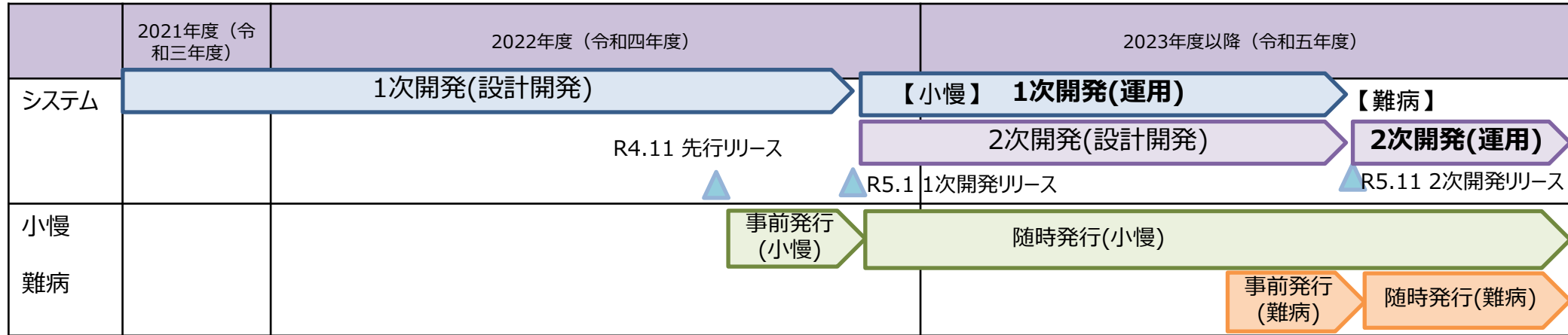


- ✓ 従来通りの紙の臨個票・意見書は、自治体にてスキャンしてPDFデータをファイルサーバにアップロードすることで、システム運営主体（基盤研・成育を想定）へ連携する（郵送は行なわない）。その後、外注先においてXMLデータに変換し、新システムに取り込むことを想定する。

# 指定医等ID・PW発行業務要件

## (指定医等ID・PW発行業務について)

- ◆ 新システムを利用するために必要な、医療機関責任者及び指定医のID・PW発行について以下の通り考えているため、対応をお願いしたい。



### (1)指定医登録用情報の登録(2022年11月～)

#### ・指定医の氏名と医籍登録番号等の一覧作成と新システムへのアップロード

指定の書式に医療機関から申請のあった指定医の氏名や医籍登録番号等を入力し一覧表を作成する（医療機関側で指定の書式に記入いただく想定）。**全指定医ではなく、希望する指定医を対象とする。**

新システムへ一覧表をアップロードするとID・PWが**新システムから自動で発行**される。

#### ・新システムで指定医の氏名と医籍登録番号等を入力（個人単位の登録）

新システムの自治体用医療機関ユーザ新規登録画面から、医療機関から申請のあった指定医の氏名や医籍登録番号等を登録すると、ID・PWが**新システムから自動で発行**される。

### (2)ID・PW発行通知書の交付と媒体の送付

#### ・ID・PW発行通知書の作成

#### ・ID・PW発行通知書の交付と媒体の送付

新システムから対象のID・PW発行通知書を印刷する。

ID・PW発行通知書と新システム運用事業者から受領した媒体を併せ、**医療機関単位で送付**する。

## オンライン化後のID・PW発行業務の流れ（イメージ）

- 医療機関からのID・PW発行申請の内容を新システムに登録するとID・PWが自動発行される
- 新システムに登録された内容をもとに、運用事業者が担当自治体へ媒体を送付する。
- 自治体は発行されたID・PW発行通知書と媒体を併せて医療機関へ送付する。

